

# 魔法のプロジェクト2021 活動報告書

報告者氏名： 鮫島伊都子 所属：鹿児島市立中山小学校

記録日：2022年 2月10日

キーワード： 漢字学習・記憶・自尊心

## 【対象児の情報】

- ・ 学年  
小学4年生の男児 (N君)
- ・ 障害名  
LD 傾向
- ・ 障害と困難の内容  
漢字を覚えることが苦手で、定着に時間がかかる。語彙力が低く、言葉の意味理解に支援が必要。
- ・ 使用した機器に        
iPad iPhone watch chromebook AI スピーカー Pepper

## 【活動目的】

- ・ 当初のねらい  
通級2年目になり、少しずつ自己肯定感が高まってきている。コツコツがんばる対象児は、タブレット操作が得意であることから、ipadを使った自分に合った学習方法を身に付けさせ、「やればできる自分」を体感させ、何事にも前向きに取り組む学校生活を送ることができるように支援をしていくことを目的とした。
- ・ 実施期間  
実施日は2021年6月～2022年2月10日
- ・ 実施者  
鮫島伊都子 (通級指導教室担当)
- ・ 実施者と対象児の関係  
通級指導教室の担当教員

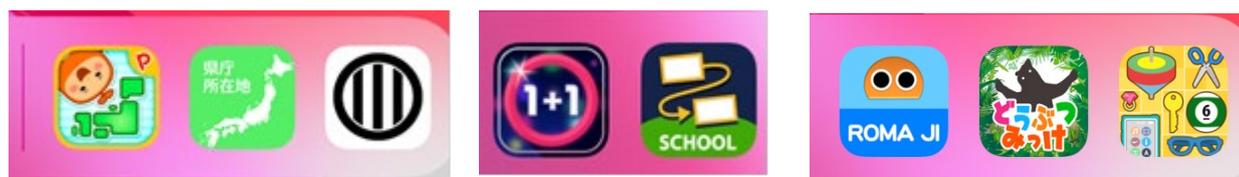
【活動内容と対象児の変化】

・対象児の事前の状況

- 通級2年目である。今年度は週2時間、ペア学習でスタート。1学期末保護者との教育相談で、2学期から週3時間（1時間は個別）に変更した。
- 算数に関しては、それほど苦手さはない。国語は苦手で、教科書の音読、意味理解などに支援が必要である。日記や作文等に漢字をあまり使わない。事象に対して興味関心が狭い。
- 板書をノートにとることや視写など丁寧で間違えることはない。
- 聞き間違い等はないが、意味を知らなかったり、記憶したりしておくことが難しい。言葉と意味をつないで覚えることが難しい。（語彙力が低い）

・活動の具体的内容

漢字力をつける活動	アプリ「小学生漢字忍者2年生漢字ドリル」（7月から）
都道府県名の読み書き 社会科学習への関心など	アプリ「地図エイリアン」「すいすい都道府県」を使って地方ごとに県名と位置を覚える。調べたい都道府県の形・県庁所在地・有名なもの・観光地などをカルタを使って表にまとめる。
物語文・説明文の新出漢字	漢字カード合わせ・漢字学習
語彙の獲得	通級指導教室学習後の反省時に使用（言葉のたから箱を使って）
内容理解	振り仮名付き教科書・音声付教科書
日記で使う漢字の定着	日記で使う頻度が多い漢字のカードを家庭で使うように持たせている。平仮名で書いてある日記文を担当者がロイロで送り、通級指導前までに本児は学級で変換して担当者に送る。（6月以降、一人1台タブレットが使えるようになった。使い方の練習もかねて、課題を送って取り組んでもらった）制作や遊びの後に作文を書く。アプリ「縦式」を使って作文を書く。ローマ字入力練習を通級の時間にアプリ「ローマ字ロボ」を使った。
自信を持つための活動	アプリ「脳トレHAMARU」「スッキリ!」「どうぶつみつけ」



・対象児の事後の変化

## ○漢字力をつける活動

### ○物語文・説明文の新出漢字



アプリ「小学生漢字忍者2年生漢字ドリル」を夏休みの間、使用した。2学期以降は新出漢字カードの合成分解時に既習漢字の組み合わせを意識した声掛けを行った。漢字の合成・分解をすることで、画数の多い漢字も既習漢字や片仮名などの組み合わせであるなどを見抜くようになり、『「老」は「考えるの上の方とヒ』などとN君から言うようになった。新出漢字を練習する際、1画1画確かめるのではなく、へんやつくりなど、ひとまとまりで書くようになった。読み方を覚えるには、毎日の漢字宿題で補っている。

### ○都道府県名の読み書き

アプリ「地図エイリアン」で、地方ごとに覚えていった。アプリのリズム良い音声と画面タッチで覚えやすいようであった。また、各地方の県名の初めの文字の組み合わせで中部地方は、あぎふ（愛知・岐阜・福井）、いと（石川・富山）、しやま（静岡・山梨）などとN君なりの覚え方で習得しようとしていた。この覚え方は、時間がたってもN君に尋ねると思い出して県名を答えることができるので、N君の大切な覚え方の一つである。漢字で全部を書くことはできないが、分からない時は教科書や地図帳で調べるなど、自力で行うようになったと保護者からの報告もあった。



### ○語彙の習得

4年教科書の内容については音読に集中している。内容理解をするためには読むことの困難さを減らす手立て

や、理解するための手立てが必要であった。家庭と連携で振り仮名付き教科書を音読の宿題時に利用するようしたり、1ページごとの内容理解の確認の課題を出したりしたが、N君一人では取り組むことが難しかった。

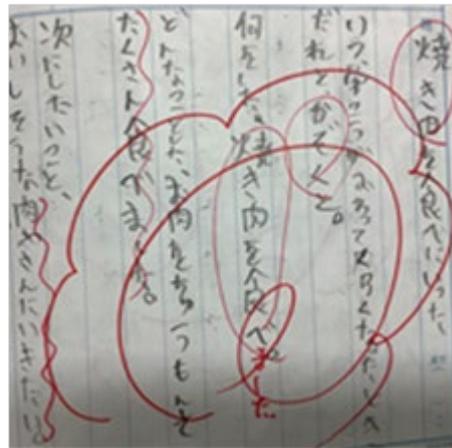
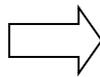
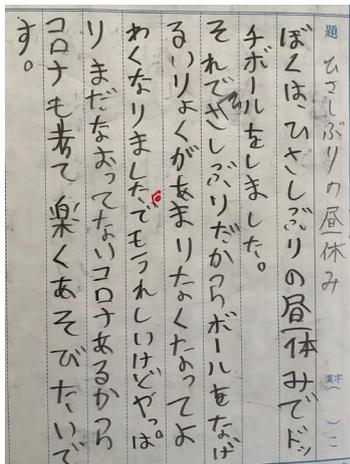
また、通級指導の反省の時間に「言葉のたから箱」を示し、N君の気持ちや状況に合う言葉がないか考えてもらった。初めは、言葉の意味が分からずに自分の思いにあう言葉を選ぶことが難しかったが、毎回説明することで、自分の気持ちにあった言葉を選ぶようになった。学習中に自然とN君から発せられた言葉があった時にはそれを使って反省を書くようにした。



## ○日記で使う漢字の定着

日記で使う頻度が多い漢字のカードを家庭で使うように持たせた。また、N君が書いた日記を、通級の時間にアプリ「縦式」で音声入力や平仮名入力をして、漢字に変換した日記に完成させた。また、ローマ字入力の練習のため、担当者が平仮名で書いた文章をアプリ「ロイロノート」でN君に送り、休み時間等を利用して次回の通級の時間までに漢字に変換した文章にしておくようにしたり、アプリ「ローマ字ロボ」を通級の時間に取り組んだりした。N君自身もローマ字入力ができるようになりたいと話していたので、夏休み期間中も5日間1時間半程度登校し、遊びや制作などの活動後に入力の練習を行った。2学期からは、ローマ字入力で調べ学習などを行っており、N君のタブレットを使う意欲につながっている。

日記の内容について、2学期は、5W1Hと次に自分はどうかを書きようにし、現在は、3行作文で、①自分の思いや考えなどおおまかに、②なぜかを詳しく、③結論や気持ちを書くという書き方で日記を書くように練習している。



今日は、いきいきでゆみやのおもちやであそびました。  
最初は、出来なかったけど、距離と、離す時後ろに引っ張る時手を離すとまっすぐ飛ぶ。真ん中につきました。



## ○自信を持つための活動

アプリ「HAMARU」の四則計算で4年生トップの記録をとることで、算数にも自信を持ち、できないところにも取り組むようになった。また、アプリ「スッキリ!」・「どうぶつみつけ」を用いて、道具の敷き詰め方や、いろいろな見方・見え方で問題を解くことを楽しみ、積極的に楽しんでいった。

漢字カード・宿題プリント・日記確認などを続けることで、テストの得点が良い時が増えてきた。また、2学期漢字テストでは90点をとることができ、「やればできる」と対象児も保護者も喜び、自信を持つことができた。

総合的学習の発表（福祉について調べてまとめたこと）のまとめ方や読み方に苦慮したが、昼休みに通級教室でまとめたり、発表の練習をしたりして、無事に学級で発表することができた。

## 【報告者の気づきとエビデンス】

### ・ 主観的気づき

昨年から引き続き、できることを引き出し、「自分ができる」と自信を持たせることで、学習に対して積極的な気持ちで取り組むようになった。また、「どうやって覚えるか」「どうやって分からないことを解決するか」など考え実行することができるようになってきたと思う。この力は、「生きる力」につながると思う。これからも、成功体験を増やし、逞しく成長してほしい。

得意なタブレットに毎時間触れさせることで、ローマ字入力が早くなり、調べたいことを調べることができるようになった。これまでのN君だと、調べたいことがあっても本を探したり、辞書や本の中から調べたりすることは、そこにたどり着くまでに時間がかかるので、大変な苦勞でやる気をなくし、やり遂げられなかったと思う。

さらに、計算アプリや気持ちをすっきりさせるアプリなど学習初めに取り入れたところ、自分と友達の関係にも意識を持ち、生活面や周囲にも時間的・空間的な見通しや、興味を持つようになった。自分に自信を持つことができ、学習にも前向きになったと思う。

分からない漢字を調べて、正しい漢字を選び、間違いなく書くことで、学習に対して充実感がある。しかし、何をどのようにまとめたいかなどの計画を立てる段階では、N君には支援が必要である。また、教科書などの内容理解にも支援が必要である。N君の語彙力や体験・知識を広げることが必要である。そのため、今後は身の回りにある情報や出来事についてN君と語り合うことに取り組みたい。

また、音声付教科書、振り仮名付き教科書など、家庭学習や通常学級で使用するものの定着ができなかったので今後も取り組みたい。また、テストに読み仮名を付けた方がテストを受けやすいとN君の感想があったので、これからも振り仮名を付けていく予定である。

しかし、5年生の学習はこれまでよりもスピーディーで量も多くなることから、N君の学習に対する不安は大きい。また、5年生の目標とする姿として「友達としゃべりたい」と書いていた。理由を聞くと、話をするけれど続かないと悩んでいるようだった。遊ぶことが大好きで、休み時間はドッジボールや鬼ごっこの仲間に入って元気に過ごしているN君だが、教室では、周りの友達とのコミュニケーションの取り方に困っていることが分かった。語彙力、暗黙の了解、抽象的会話、比喩表現などの理解に戸惑っているように感じる。5年生時、周囲の成長に遅れることなく、N君の心身の成長を支えたい。

